



Weekly Report

2012-2013 第6号

クラブ会長テーマ ロータリーを楽しもう 友達を増やそう 世界を平和に！

第2106回例会



▲日日草 (にちにちそう)

日 時 : 平成24年8月22日

会 場 : 例会場

司 会 : SAA

高柳委員

開会点鐘

板倉会長

齊 唱 : ロータリーソング「我等の生業」

お客様の紹介

板倉会長

岡本 幸 様 (日本赤十字看護大学生・ローテックス)

岩本 弥桜様 (日本赤十字看護大学生)

金 準永 君 (米山奨学生)

会長報告

板倉会長

●青少年交換プログラム ご案内

2011-12 派遣生帰国報告会

2012-13 来日生歓迎会

2012-13 派遣候補生合格証授与式

日 時 9月2日(日) 14時30分

場 所 国立オリンピック記念青少年総合センター

出席者 吉野青少年交換委員

他参加希望者は事務局へお申し出ください

●地区新会員オリエンテーションのご案内

原則入会3ヶ月以内の会員が対象ですが、希望者はお申し出ください。同じ内容で2日間あります。

日時 9月14日(金)と26日(水)

幹事報告

小澤(谷)幹事

●9月のロータリーレートは1ドル80円です。

ニコニコBOX

伊藤(達)親睦活動委員

●**板倉会長** ローテックスの岡本幸さん、日本赤十字看護大学の岩本弥桜さんの来訪を歓迎致します。HIVの卓話、なかなか聞けない部分も多いと思いますが宜しくお願い致します。

●**小澤幹事** 岡本幸さん、岩本弥桜さんの卓話、楽しみにしています。

●**高世会員・吉野会員** 岡本幸さんの卓話に岡本さんの友人の岩本様が御一緒に来会して下さいました。幸さんは久しぶりに会いますが元気そうで何よりです。大変御苦勞様です。

●**岡本正伸会員** 本日は娘の幸に卓話の機会を与えて頂き有難うございます。是非最後まで思い臉を閉じないよう、二人の卓話にお付き合ってください。岩本さん、いつも娘がお世話になり有難うございます、二人の卓話を楽しみに拝聴します。

●**山崎会員・寺澤会員・喜連紘子会員** 本日の講師、岡本様・岩本様の卓話、楽しみに拝聴させていただきます。



R. I. 第2750地区 多摩中グループ
東京国立ロータリークラブ

会 長 : 板 倉 醇 幸 幹 事 : 小 澤 谷 守

例 会 日 : 毎 週 水 曜 日 例 会 場 : 谷保天満宮社務所2階東京都国立市谷保5209 TEL042-576-5123

事 務 所 : 東京都国立市中1-9-36 KKビル4F TEL: 042-575-0770 FAX: 042-572-8666

E-mail : kunitachi-rc@sage.ocn.ne.jp

U R L : http://kunitachi-rc.com/

会報委員 : 岡本貞雄 山口康雄 喜連元昭 莊原 健 齋藤博人

●**遠藤常臣会員・本間会員** 本日の卓話、岡本幸さん・岩本弥桜さんのお話しを楽しみにしています。

●**木島会員** 岡本幸さん、岩本弥桜さん、今日は卓話を御苦勞様です。まだまだ完全解決には遠い問題ですが、頑張って下さい。

●**社会員** 47 回目のバースディを迎えてしまいました。素晴らしいプレゼント有難うございました。プレゼントは自称ちびっ子ロータリー会員の息子陽成に

あげました。今後共、息子共々よろしくお願ひいたします。

ニコニコ BOX 合計 20,000 円 累計 211,000 円

出席報告

時田出席委員

8月22日 在籍46名中 出席40名

前々回(8月1日)の出席率 97.56%

閉会点鐘

板倉会長



HIVピア・エデュケーション

岡本 幸さん・岩本 弥桜さん

(日本赤十字看護大学生)



講師紹介

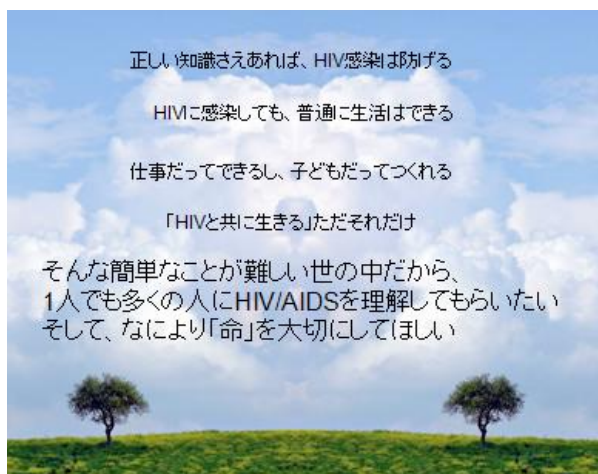
青木プログラム委員長

岡本幸さんは青少年交換留学生としてカナダへ留学していたので、皆さんよくご存じだと思います。現在は広尾にありますが日本赤十字看護大学3年生です。岩本弥桜さんは同大学でハートというサークルの代表で、一緒に活動している方です。ハート、心の触れ合う活動をされていると思います。

HIV Peer Education とは

私たちは、若者を対象にして HIV/AIDS や性感染症などの知識を広めるために活動しています。活動の目標としては、若者たちが適切な性行動を自己決定できるということです。

Peer とは仲間という意味で、HIV Peer Education の教育方法は、先生と生徒という関係性ではなく、教育する側も受講者と共に HIV/AIDS について考え、学びを深めるというものです。そして、私たちのようなより世代の近い者たちが教育する立場にあることで、若者たちが HIV/AIDS の問題を身近に捉えられるようになるということ、他国でも用いられている教育方法でもあります。



HIV 感染者の現状

世界で約 3330 万人推定。中でも、アフリカや中東・南アジア、北アメリカでは増加の傾向。

日本の HIV 感染者は 2011 年までの累計で 12,648 人。2011 年の新規 HIV 感染者は 1050 件。私達が問題視しなければならないのは新規 HIV 感染者の年齢層です。報告数が最も多いのは、20 歳代、30 歳代でした。次世代を担う若者が HIV に感染し、一生薬を飲み続けて行かなければならないのです。HIV 感染の最も多い感染経路は性的接触によるものです。これは、HIV 感染のウイルスが人間の体液に多く含まれ、粘膜などの弱い皮膚から体内に入るためです。この性的接触からの感染を予防するには、コンドームの着用と、正しい知識・行動をすることが大切となります。(その他統計：高校生の性交率・初交時期・性行為の頻度・相手の人数・コンドームの使用状況、日本の性教育について)

性についてオープンに語り合える

教育者が同性代であることから「友人」といった感覚で、性をオープンに語れるようになる。そして、受講者が気楽に性について語り合えることで、HIV/AIDS の問題を通して、「命の大切さ」についても真剣に考えられる機会を持つことができます。このようにして、1 人でも多くの若者が性に関して正しい知識を身につけ、適切な性行動を自己決定できるようになることを私たちは願っています。

性教育には羞恥心のない環境が必要であり、HIV Peer Education の必要性はそこにあります。また、1 人でも多くの方が「HIV/AIDS」について理解を深めることは、差別をなくすということにも繋がります。

HEART

HIV peer Education Activity Red-cross Team